

まちづくり交付金 事後評価シート
荒尾周辺地区

平成21年3月

愛知県東海市

様式2-1 評価結果のまとめ

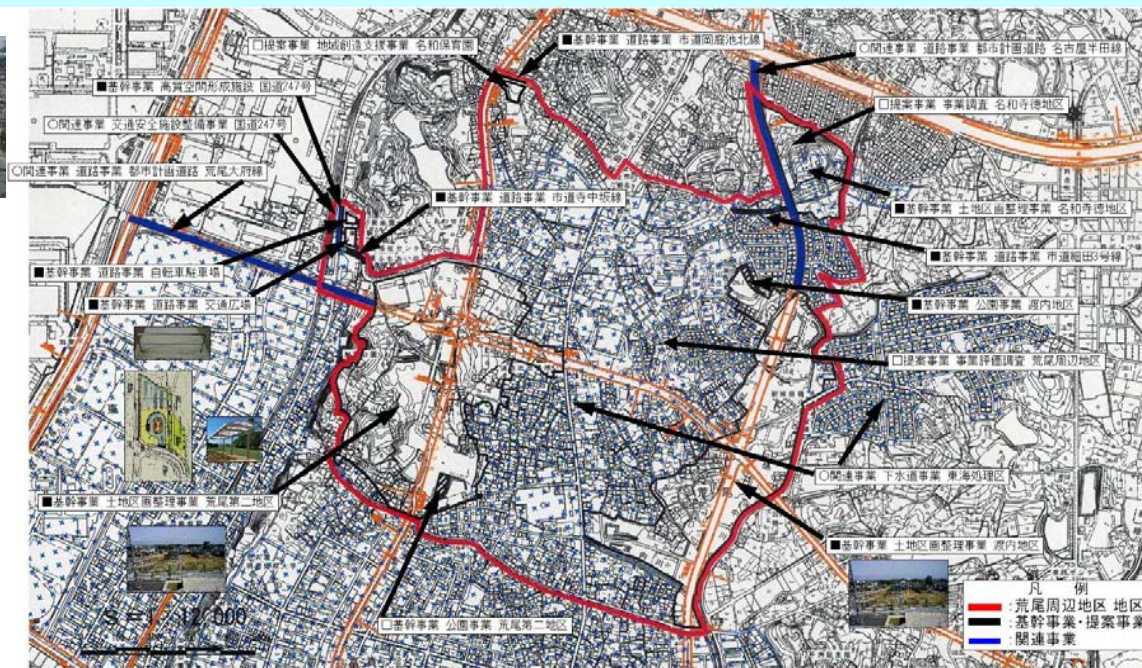
都道府県名	愛知県		市町村名	東海市		地区名	荒尾周辺地区			面積	150ha
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	2,002百万円	国費率	0.321		
1)事業の実施状況	事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(自転車駐車場、交通広場、市道寺中坂線)、高質空間形成施設(国道247号) 土地区画整理事業(荒尾第二地区、渡内地区)								
		提案事業	地域創造支援事業(名和寺徳地区 事業調査)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(荒尾第二地区)			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし								
新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道細田3号線、同岡庭池北線)、土地区画整理事業(名和寺徳地区)			・都市計画道路に接道する市道を整備することにより地区内の交通網の改善がなされて生活水準の向上や歩行者の安全を図ることができるため新たに追加する。 ・組合設立により関連事業から基幹事業に移行して良好な住環境の促進を図るため新たに追加する。			影響なし			
	提案事業	地域創造支援事業(子育て支援施設)、事業活用調査(事業評価調査)			人口の増加しつつある北西地区の住民に便利のよい立地の保育園を区域内に整備し、よりよい住環境を整備する。 特に共働きの多い若い新住民のニーズにこたえられるべく3歳未満児保育を重点化して整備する。 また、住みよい住環境を整備するため、家庭の子育て相談に積極的に応じられるように子育て支援センターを併設して、この地区の子育て支援の拠点を図るもの。			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	駅利用の乗降客数	人/日	4,234	H14	4,796	H20	●	ありなし	保留地販売が乗降客増に寄与しているものの、目標値(0.9%至らず)。	平成21年6月
	指標2	一人当たりの公園面積	m ² /人	0.29	H15	0.82	H20	●	ありなし	公園整備が予定通り進まなかったことが、最大の要因である。また人口増加が順調だったことが、割合低下の要因の1つである。	平成21年5月
	指標3	公共下水道区域	ha	4.5	H15	135.5	H20	●	ありなし	当初目標が高かったため、目標到達には至らなかったものの、まち交投入で整備率を72.9%(市全体の整備率は48.1%)まで上昇させることができた。	平成21年4月
	指標4	地区内人口	人	6,962	H15	7,572	H20	○	ありなし	土地区画整理事業による保留地販売が直接的要因となり、目標値に到達した。	平成21年5月
	指標5	住宅地面積	ha	52.8	H15	55.1	H20	●	ありなし	目標達成には至らなかったが、道路空間の整備や商業系・住居系保留地の販売が順調であり、当初目標設定の意図は達成されている。	平成21年5月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	土地区画整理事業が順調に進んだことが直接的効果上げている。また、地区の利便性を総合的に高めることが出来たことが安定した販売に繋がったと考えられる。	平成21年4月
	その他の数値指標2	町の公園・街路樹などに満足している人の割合	%	56.7	H17			59.4		駅周辺の道路整備や土地区画整理事業が順調に進んだことが直接的効果あげている。	平成21年5月
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況	地区内には幹線道路沿道に大型商業施設が立地したり、手頃な価格帯のマンションが建設されるなど民間開発が進み、ニューファミリー層向けの住宅地としての生活利便性が向上した。										
5)実施過程の評価	実施内容										
	モニタリング	なし			実施状況			今後の対応方針等			
	住民参加プロセス	平成19年度に渡内地区で公園設計に反映させるための住民ワークショップを開催した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 荒尾第二地区についても同様のワークショップを開催するとともに、公園開設後の維持管理方法について、地域住民との協働方法を検討する。			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

荒尾周辺地区(愛知県東海市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
(大目標)交通網、交通結節点の整備改善に併せた良好な住環境づくり 目標1: 駅周辺の整備及び土地区画整理事業等において道路、公園、公共下水道を整備することにより、安全で快適な住環境の形成。 目標2: 子育て支援の拠点をつくり、併せて道路整備を行い安心・快適に暮らせる環境の形成。	駅利用の乗降客数	単位: 人/日	4,234 H14	4,796 H20	#REF! H20
	一人当たりの公園面積	単位: ㎡/人	0.29 H15	0.82 H20	#REF! H20
	公共下水道区域	単位: ha	4.5 H15	135.5 H20	#REF! H20
	地区内人口	単位: 人	6,962 H15	7,572 H20	#REF! H20
	住宅地面積	単位: ha	52.8 H15	55.1 H20	#REF! H20
	地区内の保留地販売面積の累計	単位: ㎡	9,810 H15		31,608 H20
	町の公園・街路樹などに満足している人の割合	単位: %	56.7 H17		59.4 H20

整備が完了した駅前広場一帯



土地区画整理事業が進んだ 荒尾第二地区、渡内地区



渡内公園のワークショップ風景



まちの課題の変化	<p>当初、安全で快適な生活基盤の確保が必要とされており、事業を実施した結果、人口や駅利用者が増加するなど、魅力ある地域づくりが進んできたが、一部取り残し箇所が残っており、引き続き整備を行う必要がある。</p> <p>また、地域に密着した住民サービス確保のため、保育園と一体となった子育て支援センターの建設が進むとともに、大型商業施設等の立地が進み、生活利便性は大きく向上した。</p> <p>一方で、人口増加に対して公園の整備は遅れており、良好な住宅地形成のために、緑あふれる地区づくりが必要である。加えて、都市近郊のニュータウンとして埋もれないため、地域の文化など独自性を発揮する地域づくりが必要である。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>まちの魅力維持・醸成に向けた市民参加の環境づくり…まちづくり交付金によって創出された生活基盤や住民サービスに加え、今後継続的に進めていくまちづくりの効果を維持・向上させるために、ボランティア活動の促進やアダプトプログラム等による市民・事業者等を巻き込んだ取り組みを促進する。</p> <p>地域の独自性の創出(歴史資源である平洲と大仏を訪ねる花の道の整備)…土地区画整理事業を核として一定の都市基盤整備が進むなか、他都市との差別化を図り、魅力あふれるまちにしていきたいために、「東海市に住んでよかったと思える豊かな教育環境づくり」を目指す。このため地域資源である細井平洲先生(儒学者)と、聚楽園の大仏に着目し、地域学習のためのルート整備や、ソフト施策を実施し、東海市の文化や歴史に親しむための取り組みを行う。</p> <p>継続した都市基盤整備の促進、人口増加に対応した緑の確保(子育て世代向けの良好な居住環境づくり)…本地区およびその周辺には、大規模な緑の拠点として聚楽園公園があるものの、それ以外には計画的に緑の空間は配置されていない。今回の評価において、地区内の緑が絶対的に不足していることが明らかになったことから、引き続き都市基盤整備を進める中で、街区公園など「点の緑」、道路沿道などの「線の緑」の創出に努める。これにより、生活利便性だけでなく、生活していて心地良い、子育てに適した緑豊かなまちを目指す。</p>